

い夜ご飯が用意されていることにはとても幸せを感じています。また、生活費を自分で負担することがほぼないため、自分自身の財布には優しいのではないのでしょうか。

デメリット：大学の友人との付き合いが難しい

宅通生はつくばにいる時間が短いため、友達付き合いが非常に難しいです。つくばまでの移動が大変なので気軽に遊びに行くことができません。また、電車やバスの終電もあるため一緒に過ごせる時間が少ないです。私の場合、オンライン授業が多かった春学期は大学に友達がほとんどいなかったこともあり、ずっと家にいて孤独な生活を送っていました泣。

デメリット：早起きしなければならない

筑波大学の1限は8:40から始まります。この時間は通勤・通学ラッシュになったり大学循環バスが混んだりするので時間に余裕をもって動く必要があります。私の場合、1限がある日は6時には起きなければいけなかったのも、月曜1限や連続して1限のある日はとても大変でした。。

デメリット：終電がある

つくばエクスプレスの終電は比較的早く、友達の家で遊んだり一緒に課題をやったりしていても自分だけ早く帰らなければいけなくなることがあります。大学循環バスの終電はもっと早いため、バスを利用する人はなおさらです。

12.4. 電車宅通からアパート暮らしへ乗り換えた事例

千葉から2時間半かけて宅通をしていましたが、秋学期からアパートへの引っ越しをしました。私はもともとつくばにはよく行っていたので、電車もあるし行けるだろうという気持ちと、親も乗換の駅まで通っていたことを考慮し、当初は宅通でした。しかし、春学期の間に、片道2.5時間、往復で1日あたり5時間を通学に要するのはコスパも悪く、大学の勉強において電車内はWi-Fiもないことから環境の悪さも感じていました。さらに、定期代(30000円)＋ガソリン代(2000円)で家賃を支払えるのではないかと、秋学期からのアパート暮らしを決めました。現在では奨学金やバイト代を活用し生計を立てています。

12.5. 県外宅通(自動車)の事例

12.5.1. 概要

私は埼玉県東部から自宅通学をしています。この背景として、最寄駅からつくば駅の片道料金が安くても片道約1300円、また所要時間が電車移動で1時間半、駅からのバスの接続が悪いと合計で約2時間、駅から自転車を使っても生物学類がある第2エリアには2時間以上かかることで入試や下見の際に疲弊したことがあります。また、私は推薦入試に合格していたため、高校の規則に基づいて1月の半ばから教習所に通うことを許可されていました。後述しますが、アパートによる下宿、宿舍暮らしのQOLと免許取得と自動車を使うと下道を用いて片道1時間30分程度でつくばまで行けるという点を考慮した結果、自動車を用いた通学を選択しました。